

自然学習講座

テーマ：葛飾区の水生昆虫を知ろう！

日時：令和7年9月7日(日) 午前10時から12時まで(雨天決行)

講師：三田村 敏正 氏(福島大学客員教授、水生昆虫研究者)

参加費：無料 定員：各回30人(小学生以上)

受付開始：令和7年8月1日(金)

集合：水元かわせみの里 水辺のふれあいルーム

受付：令和7年8月15日(金)まで電話で受付し、応募者より抽選。

※ 野外での観察もありますので、動きやすく、汚れてもよい長袖長ズボンでお越しください。
 ※ 長靴または濡れても良い運動靴でお越しください。
 ※ 小学生以下は保護者同伴。



水元公園で水生昆虫を採取して観察し、環境と生きものつながりを学びます。

イベント・ガイドウォーク

かつしか環境・緑化フェア 10月5日(日)
 会場：テクノプラザかつしか 午前10時から午後3時まで
 子どもから大人まで環境について楽しく学べるイベントです。水元かわせみの里は生きもの展示やクイズなどを行います。



ガイドウォーク 1回目 11時から30分間
 2回目 13時30分から30分間
 専門員が水元かわせみの里周辺を解説しながらご案内します。ボランティア活動日はボランティアさんが野草園を案内します。



水元かわせみの里とは (水元小合溜水質浄化センター)

水元小合溜の水辺環境を、豊かな生きものが生息していた昭和30年代前半の頃のように戻すために作られた、水質を浄化する施設です。施設内にある水辺のふれあいルームでは、専門員による解説や講座、様々な展示やイベントなどを通して、周辺の自然や歴史、水質浄化の取り組みなどについて楽しく学ぶことができます。



- 開館時間・・・9時から17時30分(4月から10月)、9時から16時30分(11月から3月)
- 休館日・・・月曜(祝日の場合は、その直後の平日)
- お問い合わせ・・・水元かわせみの里 03(3627)5201 東京都葛飾区水元公園8番3号
- 交通 京成バス

水元公園循環バス(3月から11月の土日祝のみ)	金町駅南口←→戸ヶ崎操車場・八潮駅南口(金61系統)
金町駅南口→水元公園→金町駅南口	
水元かわせみの里下車 徒歩1分	水元五丁目 または 大場川下車 徒歩5分

※ お車でお越しの際は、水元公園有料駐車場をご利用ください。



水元かわせみの里

水辺のふれあいルーム通信

令和7年 7月20日
 (通算第220号)

蝶のように舞う美しき蜻蛉

水元小合溜の生きもの：210

チョウトンボ

トンボ目トンボ科
 体長 31~42mm
 時期 5~9月

とくに後翅が幅広く、チョウのようにヒラヒラと飛ぶので『蝶蜻蛉』と名付けられました。翅の光沢は構造色と言って、翅の超微細な構造に光が干渉して見える色なので、光の加減や見る角度によって、色合いは変わって見えます。



とまって休んでいる時、太陽に向かってお腹を上げることがあります。これは日光に当たる面積を減らし、体温が上がるを防いでいるのです。▼

水元公園は貴重な生息域のひとつ

水生植物の茂った水辺を好んで生息し、水元公園ではヨシが茂った所で多く見られます。ただ、都内全域での生息地は近年減少しており、東京都レッドリストでは”準絶滅危惧”に指定されています。



オペリスク姿勢！

発見!お散歩隊がゆく

日々変わりゆく小合溜の自然を、お散歩隊が見つけて紹介します!



7/8 ワルナスビ 白や薄紫の花を咲かせるナス科の植物。鋭いとげがあるため触る際は注意が必要。



7/8 ムラサキツメクサ・ペニシジミ 5月から8月にかけて赤紫色の花を咲かせる。蜜を求めて多くの昆虫が集まる。



7/8 コフキトンボ 水元公園内の水辺で見られるトンボの一種。オスは成熟すると青白い粉を吹く。



7/8 オオカマキリ(幼体) 草原に潜むハンター。5月中頃に孵化が始まり、7月頃には成体が見られるようになる。



7/8 ゴマダラチョウ 樹液に集まるチョウの一種。産卵のためか、エノキの近くの葉にとまる姿が見られた。



7/8 ショウリョウバッタ 草原にいる後ろ足が立っているバッタ。成体のオスはキチキチと鳴きながら飛び。



7/8 ハシボソカラス 市街地でもよく見られる鳥。体の熱を逃がすために口を開けている姿が見られた。



7/8 ムクドリ(幼鳥) 成鳥は黒褐色だが若い個体は黒みが少なく褐色。繁殖が終わり、群れで活動する姿が見られる。



7/14 イネ 水元かわせみの里で、田んぼピオトープとしてコンテナで育成中のイネ。トンボ類やその幼虫などが見られる。

● 写真を撮った場所を地図上に示してありますが、他の場所でも見られます。皆さんもぜひ見つけてみましょう。

専門員コラム 「今こそ必要な田んぼ」のお話

水元公園に揺蕩う広大な溜池「水元小合溜」は、およそ300年前、周辺の田畑を潤す灌漑用水として川をせき止める形で作られました。この歴史の通り、水元公園周辺にはかつて広大な田んぼがありましたが、現在は宅地化によりその殆どが失われました。

田んぼには、イネ(9)が育つだけでなく、多面的な機能があります。土砂の流失を防いだり、水を地中に蓄える効果などがその一つですが、特に重要なのが様々な野生動物の生息場所になると言う点です。しかし、水元の例にもれず田んぼは全国的に失われつつあり、結果として、アキアカネなどのかつて当たり前に見られた生きものが、その数を大きく減らしています。水元公園でも、かつてはメダカや、水生昆虫ではマルコガタノゲンゴロウなどの希少な生物が生息していましたが、現在その姿は見られなくなりました。これまで当たり前に見られていたはずの生きものが減少し生態系が崩れると、最終的に、自然から様々な糧を得ている我々の生活にも強い影響を及ぼすとされます。

水元かわせみの里では、そんな田んぼや池に暮らす生きもののために現在新しく田んぼを作っています。コンテナではなく、地面を彫り上げて作る本格的な田んぼです。今こそ、田んぼの価値を見直す時が来ているように感じます。(野間)



ボランティア活動報告

水元かわせみの里の植栽管理作業を行いました！

7月10日(木)に、水辺のふれあいルーム前の水辺に茂った低木や水草の一部を刈り取り、飛来するカワセミが観察しやすいようにしました。また、ハーブ園の整備も行い、ハーブやハーブに飛来する昆虫類の観察がしやすいようにしました。



岩場のガマやノイバラ、アメリカセンダングサなどを刈りました。



水辺のふれあいルームから止まり木が見えやすくなりました。



大きく徒長したハーブの剪定をしています。



絡まっていたツル植物等も剪定して、ハーブの区分けを分かりやすくしました。

ボランティア募集

水元かわせみの里ボランティアは、活動を通して、ボランティアの方々が地域への愛着を育み、ひいては地域の発展へ貢献することを目標とします。地域の自然保護活動や、来館者へのクラフト教室など、やりがいをもって参加いただける活動がたくさんありますので、気軽にご参加いただきたいと思います。

■活動内容 水元かわせみの里周辺の美化活動や、水辺のふれあいルームの管理等補助作業
ガイドウォーク等の補助作業、ボランティア研修会の受講
葛飾区子どもまつり、環境・緑化フェアなどへの参加

■募集期間 随時募集しています

■対象 18歳以上の方(原則)

■活動日 月4回程度(定例活動日 第1、3土曜日、第2、4木曜日)

■申し込み・お問い合わせ 水元かわせみの里 03(3627)5201

学校等団体利用のご案内

水元かわせみの里には、水元小合溜の歴史や自然の解説を行う専門員がいます。総合的な学習の時間、理科、社会科、生活科などの学習にぜひご利用ください。

総合的な学習の時間



植物の葉っぱと種の観察

水元小合溜周辺の身近な生きものや、環境、歴史について楽しく学びます。水質浄化センターの見学なども可能です。

職場体験受け入れ



中学生職場体験

施設周辺の美化活動、施設内の管理作業、生物の調査、ガイドウォークの補助など、様々な体験が可能です。

自由研究の補助



虫とのキットを作る

水辺の生きもの調査、図鑑作りなど、様々な内容の自由研究のイベントを行い、夏休みの児童への、学習のサポートをします。

その他、主な団体利用の内容

- ・生物関係のクラブ活動の補助
- ・大学、専門学校の実習の受け入れ
- ・福祉系団体への自然解説
- ・歩こう会など、各種団体への自然解説

※バスでの来館のご希望や、ガイドの時間・内容などの詳細については、ご相談ください。

※団体利用に関するお問い合わせは、水元かわせみの里窓口、または電話(水元かわせみの里 03-3627-5201)まで。

野草園だより 見頃の生きもの 8月編

水元かわせみの里の裏手にある小さなビオトープ「野草園」。様々な生きものが暮らすこのビオトープで見られる、ステキな生きものをご紹介します。

8月の見頃

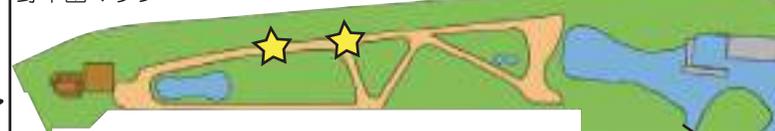
トウキョウヒメハンミョウ

体長約8mmのハンミョウの一種。アリなどの小さな昆虫を走って追いかけて、捕食します。

小さいので見つけにくいですが、空地や公園など身近な所に生息しており、野草園でも園路や草の上などで見られます。近づくと飛んで逃げますが、すぐに着地するので追いかけて大丈夫です。



野草園マップ



見られるポイントはココ！